

味見読書(2) 選んで本を読む

実 施 日 令和6年11月15日

対 象 小学校 6 年

所 要 時 間 20分(準備時間含まず)

教科・教材名 国語

単 元 名 模型のまち

目的・ねらい

- 単元の導入として関連する本を読む。
- クラスメートと本を読んで交流する。

学校図書館活用のポイント

- ☐ 味見読書に使う本を学校司書が選書し、地域図書館へ団体貸出依頼した。

必要なもの

- ☐ 味見読書用の本 (クラス人数分+予備数冊)(別紙図書リスト参照)
- ☐ タイマー

参考文献(『書名』出版者,出版年,ISBN)

- ☐ 『味見読書で本離れが無くなる!』 明治図書出版、2003年、ISBN 9784189075158

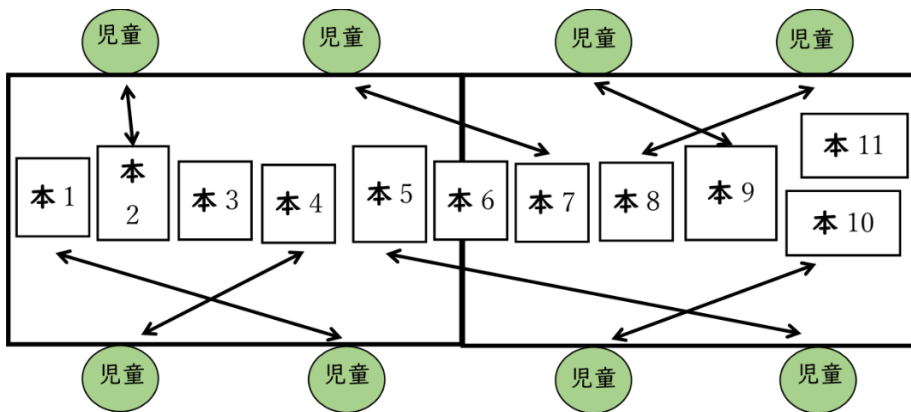
当日までに行うこと

- ☐ 味見読書用の本を地域図書館に団体貸出依頼する。

実践内容	物品	留意点
〈提案〉 9 月下旬 6年の担任から国語「模型のまち」の導入として、戦争や平和に関連した絵本を読ませたいと、学校司書に依頼があった。		
〈相談〉 1冊を何分読むか、何冊読むか、味見読書後の子どもたちの交流と発表のやり方について担任と打ち合わせた。当日の席の割り振りは担任が行った。		
〈準備〉 平和学習の取り組みだったので、ものがたり絵本も含め、重くなりすぎない内容・絵の本を学校司書が選書した。 学校図書館の蔵書ではたらない資料については、地域図書館に団体貸出を依頼した。		グループの人数 + 予備の絵本を 必要セット用意した。

〈実践〉 あらかじめ4つのテーブルに 11 冊の本を置いておいた。児童は4グループ(最大8人)に分かれて、それぞれのテーブルにすわった。味見読書のねらい、ルールややり方について説明した。

- 味見読書のルール
 1. どこから読んでもいい。
 2. 全部読めなくてもいい。
 3. 借りなくてもいい。
 4. 気楽に読んでみよう。
- 味見読書のやり方
 1. 3分間集中して読む。3分以内に読み終わったら本を交換してもよい。
 2. 3分たったら、学校司書または担任が声をかけ、別の本と交換する。本は自分で選ぶ。
 3. これを繰り返す。合計12分。



読み終わったら、8人くらいの児童に本の感想を発表してもらった。後日、本は、いつでも読めるように、ブックトラックにのせて 6 年生の教室の近くに展示した。

味見読書に集中するため、他の本を机上に置かない。

味見読書前に、学校司書が簡単に本の紹介をした。自分が読みたくない(怖い)本は読まなくてもよい、自分で判断することを説明した。

発表のときの司会やまとめは担任の先生が行った。

〈結果／児童生徒・教職員の反応〉

児童は、11 冊用意された本から、自分で選び、グループで向かい合って読んだことで、気軽に取り組むことができた。

児童の反応(アンケートより抜粋)

- 本を交換するときに、他の児童と「これ面白かったよ」などの言葉を交わすことができ、一体感があって楽しかった。
- 自分で好きな本を選ぶことができたのがよかった。

担任の反応

- 味見読書の後も続けて本を読む児童が複数おり、児童が関心を持ってくれたようだ。